

# 埋文やまがた



2016年 8月 31日

Web版第1号

(第57号)

## 埋文センター見学・体験学習



5月2日(月)  
上山市立南小学校5年生の皆さん

上:押出遺跡の整理室にて

下左:展示室見学

下右:大型模型と一緒に、ハイ!チーズ

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3246 山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ : <http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス : [yac@yamagatamaibun.or.jp](mailto:yac@yamagatamaibun.or.jp)

# 平成28年度 山形県内の発掘調査

今年度は、国土交通省・山形県・米沢市・川西町から委託を受け、6遺跡延べ6件の発掘調査を実施します。また、発掘調査の終了した遺跡の整理作業を行い、4遺跡の報告書を刊行します。

## 発掘調査事業

(8月15日現在)

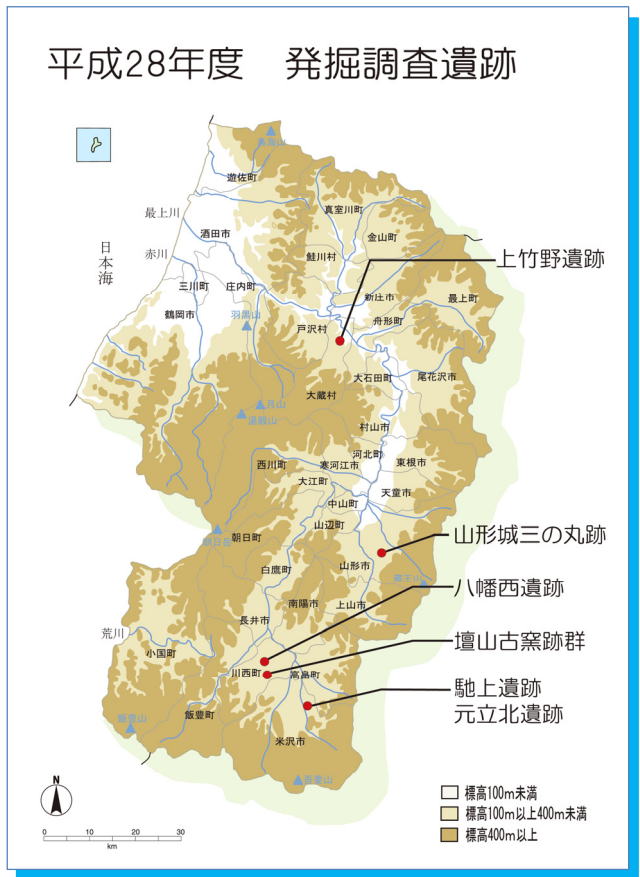
| No | 遺跡名           | 市町村 | 時代区分        | 種別      | 調査期間         |
|----|---------------|-----|-------------|---------|--------------|
| 1  | うわたけの上竹野遺跡第2次 | 大蔵村 | 縄文          | 集落跡     | 6月27日～10月7日  |
| 2  | 山形城三の丸跡第18次   | 山形市 | 奈良・平安・中世・近世 | 城館跡・集落跡 | 6月1日～9月30日   |
| 3  | 山形城三の丸跡第19次   | 山形市 | 奈良・平安・中世・近世 | 城館跡・集落跡 | 6月13日～8月31日  |
| 4  | だんやまこよう壇山古窯跡群 | 川西町 | 奈良・平安       | 窯跡      | 5月9日～7月7日    |
| 5  | やわたにし八幡西遺跡    | 川西町 | 奈良・平安       | 集落跡     | 5月16日～11月10日 |
| 6  | はせがみ馳上遺跡第8次   | 米沢市 | 古墳・奈良・平安    | 集落跡     | 4月25日～11月11日 |
|    | もとだてきた元立北遺跡   | 米沢市 | 縄文・平安       | 集落跡     |              |



馳上遺跡第8次



山形城三の丸跡第18次



## 整理作業

| No | 遺跡名                   | 市町村 | 時代区分     | 種別      | 業務内容     |
|----|-----------------------|-----|----------|---------|----------|
| 1  | せみた蝉田遺跡第1・2次          | 村山市 | 奈良・平安    | 集落跡     | 報告書作成・刊行 |
| 2  | おんだし押出遺跡第6次           | 高畠町 | 縄文       | 集落跡     | 報告書作成・刊行 |
| 3  | 壇山古窯跡群                | 川西町 | 奈良・平安    | 窯跡      | 報告書作成・刊行 |
| 4  | 馳上遺跡第2～4・6次           | 米沢市 | 古墳～中世    | 集落跡     | 報告書作成・刊行 |
| 5  | はぐるじんじやしに羽黒神社西遺跡第1・2次 | 村山市 | 縄文       | 集落跡     | 報告書作成    |
| 6  | まつはし松橋遺跡第1・2次         | 村山市 | 奈良・平安・中世 | 集落跡     | 報告書作成    |
| 7  | はったん八反遺跡第1～3次         | 東根市 | 縄文・古墳～中世 | 集落跡・墓地跡 | 報告書作成    |

# 平成 28 年度発掘調査説明会 ①

## 壇山古窯跡群 6月18日(土)

壇山古窯跡群はJR米坂線中郡駅のすぐ近く、虚空蔵山の山裾に立地します。約 400 m<sup>2</sup>の調査区から3基の須恵器窯の他、かまどのない方形の竪穴建物などが発見されています。

奈良・平安時代の東北地方は、開拓が盛んに進められた時代です。本遺跡のような須恵器窯は、新規開拓のために増加した生活品の需要に対応するためにつくられたものと考えられます。

これからの整理作業の進展によって、置賜の歴史を物語る、重要な資料が得られることが期待されます。



## 八幡西遺跡 8月20日(土)

八幡西遺跡は川西町の北端(西大塚)に位置しています。

この度の調査区では、北側に微高地、南側には緩傾斜の低地が広がります。遺構は微高地上に密集し、低地に下降するほど分布は稀薄になります。

低地は一面が古代の遺物包含層(黒色粘土層)に覆われ、往時には地帯が離水し湿地化していたことが分かります。その中で、水際の一角から完形の竈形土製品(かまどがた)が出土しました。

微高地では、掘立柱建物跡、溝跡、井戸跡、土坑などが見つかりました。掘立柱建物跡は、主軸が南北方向の建物が3棟、東西方向の建物が3棟、主軸の方向がほかと異なる建物が1棟見つかりています。



※当日の配布資料は、別途ホームページにアップしてあります。ご利用下さい。

## 考古学クイズ ～山形の遺跡編～

これまで、山形県埋蔵文化財センターでは、県内にある遺跡について、数多くの調査を行ってきました。このコーナーで、少しでも県内の遺跡や文化財、考古学に興味を持っていただければ幸いです。

Q. 昨年の上竹野遺跡の調査で、土製の人形が出土しました。同様に縄文～弥生時代の遺跡で見つかる、国宝『縄文の女神』を代表とするこのような土製の人形のことは、一般になんと呼ばれているでしょうか？

A. ① 人形(ひとがた) ② 埴輪(はにわ) ③ 土偶(どぐう)

ヒントは前号(第56号)にあります。答えは次号(Web版2号(第58号))の「埋文やまがた」で！  
(バックナンバーはセンターのホームページからも見るができます。)

遺跡(埋蔵文化財)とは「過去の人間活動の痕跡」で、一般的には地下に埋蔵されているもののことです。集落跡や古墳、貝塚、城館跡など様々な種類があります。

今回の問題になった、昨年大蔵村の集落跡「上竹野遺跡」で発見されたものは、頭部が欠けた状態で土器などの捨て場から見つかりました。国宝『縄文の女神』の発見時も同様で、他の同類のものも、似たような状況で見つかることが多いようです。作ってから壊して捨てるまでの一連の流れが、当時の祭祀(おまつり)のあり方と深く関わっているのではないかと考えられています。

# 埋文センターへようこそ！

## 見学等のみなさん

埋蔵文化財センターでは、常設の展示品の他、センター内で行っている業務や発掘現場を公開しています。今年も表紙でご紹介した【上山市立南小学校】の皆さん他、社会教育活動や授業の一環として、あるいはセンターや発掘現場を会場とした研修会等の利用がありました。

上山市地区公民館合同研修会



6月10日(金)

上山市立南中学校 キャリアスタートウィーク



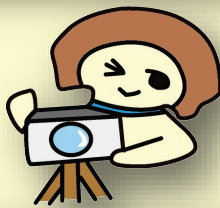
7月5日(火)～7日(木)

山形市立蔵王第一中学校 職場体験



5月24日(火)～26日(木)

見学・研修等でのご利用  
のお申し込みは、随時受け  
付けておりますので、お気軽  
にお問い合わせ下さい。



おくら松の実塾(大蔵村教育委員会)



7月14日(木)上竹野遺跡

川西町学校教育研修所社会科専門部会



7月29日(金)八幡西遺跡

なつやすみ子どもミュージアム

# やまがたの昔むかし

開催期日

7月19日(火)～

8月19日(金)



「まいぎり」による火起こし体験



ドングリ粉を使った縄文食体験



弓矢体験

今年の『子どもミュージアム』は独自開催となり、ホームページによる告知しかできませんでした。そのためお客様の数は、昨年までと比べると、残念ながらとても少なくなりました。そんな中、わざわざ埋文センターを訪ねて下さった方々、本当にありがとうございました。

体験コーナーで実施した『縄文食体験』は、縄文人も食べていたであろうドングリの粉を使った料理で、現代日本ではふだん口にすることがほとんど無いと思われますので、皆さん興味津々で取り組んでおられました。さてさて、お味の方はいかがでしたでしょうか？

## 平成 28 年度 市町村文化財担当者研修会

5月13日(金)於：山形県埋蔵文化財センター

6月24日(金)於：川西町 八幡西遺跡(発掘現場)



山形県教委主催の県内市町村文化財担当者の研修会が、センター施設を会場に行われました。座学中心の1日目、発掘現場での実地研修が中心となった2日目ともに、皆さん熱心に受講されていました。

# 秘宝館

はなやま  
お花山古墳群出土 ガラス小玉



山形県教育委員会所蔵

1991年7月に、山形自動車道の<sup>せきさわ</sup>関沢IC-山形北IC間が開通し、高速道路が<sup>ジャンクション</sup>村田JCTから寒河江市まで一本につながりました。さかのぼること数年。1982～83年にかけて、山形北IC近くの「お花山古墳群」で、此度の高速道路建設に伴う緊急発掘調査が行われた際に、たくさんの美しいコバルト色をしたガラス小玉が、他の副葬品とともに発見されました。

「お花山古墳群」は、山形市北東部の小丘陵地に位置しています。大正時代のはじめには39基の墳丘が確認されていましたが、調査時には、既にほとんどの墳丘が削平を受けていました。そのためあまり期待されない中での、思わぬ大発見だったそうです。

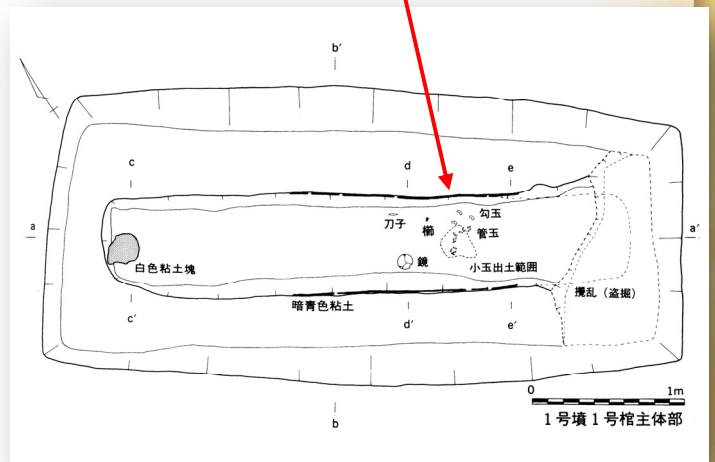
これら大小合わせて534個にのぼるガラス小玉、11個の<sup>くだたま</sup>管玉、3個の<sup>まがたま</sup>勾玉等の出土した1号墳1号棺は、5世紀後葉から7世紀前半のものと考えられていま

## ←ひとつにつながれた ガラス小玉

現在、高島町の【山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館】で、一緒に出土した玉類他とあわせて展示中です。

## 1号墳1号棺内 副葬品の出土状況

勾玉・管玉の周辺に、たくさんのガラス小玉が散らばっていました。被葬者の胸部付近と考えられます。



す。一緒に出土した勾玉・管玉とともに、径30cmほどの場所に集中していることから、ここに葬られた<sup>あてびと</sup>貴人の胸元を飾っていたに違いありません。

写真は、ガラス小玉のみを、展示用に1本につながり合わせたものです。勾玉や管玉も合わせて、ひとつのネックレスだったのかもしれませんが、あるいは、何本かに分かれていたのかもしれませんが。今となっては詳細は不明です。

## 編集後記

諸事情により、当誌『埋文やまがた』の印刷・配布を当面の間停止しております。それに伴い、新規の購読申し込みも、現在受け付けておりません。インター

ネット上での公開は継続していく予定ですので、引き続きこちらでご覧下さると幸いです。ご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。